

# 奈良スーパーアプリのビジョン

資料1-2

|             |                           |           |           |         |
|-------------|---------------------------|-----------|-----------|---------|
| <b>課題</b>   | お困りごと多様化                  | 縦割りに対応の限界 | 紙で、時間がかかる | 膨大な庁内事務 |
| <b>目指す姿</b> | もっと、県民一人ひとりに寄り添ったサービス     |           |           |         |
|             | 関係者がネットワークでつながって、業務・施策を実行 |           |           |         |
|             | 住民にとって、より迅速に・より簡単に、事務も簡略に |           |           |         |

## 奈良スーパーアプリで実現

### ユースケース事業 (例)

- 子育て支援アプリ
- 奈良旅コンサルジュ
- おいしい奈良産食材活用促進事業

### もっと寄り添う

いつも手元にあるスマホで一人ひとりの状況を把握

ニーズをデータで貯めて、「おすすめ」の支援を提案

### ネットワークで

情報ネットワークで関係者が住民の状況を共有

横串化された一体的・包括的サービス

### ユースケース事業 (例)

- 中小事業者コロナ補助金
- 高校支援金・給付金、出願

### 簡単・便利に

オンラインで申請・完結

内部事務の負担軽減

役場に行かなくても

### ユースケース事業 (例)

- スマート税務システム
- AI 洪水・災害予測
- 雨水浸透阻害行為許可の電子化
- デジタル規制区域監視



# これからの取組の内容

条例により**制度化**された「**県民カード化**」構想の基盤となる**マイナンバーカード**

住民のしたいことを実現し、解決する**モバイルアプリ**

高校修学  
支援

観光  
情報発信

施設予約  
申請

etc

市長村からの  
「情報発信」、  
「オンライン申請」  
に横展開可能

サービス提供

**ガバメントクラウド**によるクラウドバイデフォルトの実現

用途に応じて最適化されたデータとオープンな標準仕様を提供する  
**データ連携基盤**

連携

連携

行政が提供する住民サービス

県の  
行政サービス

市町村の  
行政サービス  
(標準外)

自治体  
標準システム※2

県が主導して  
共同利用を支援

共同  
利用

市町村

連携

民間、準公共分野と連携・協働し、  
**組み込み型サービス**を提供

民間クラウド  
サービス

準公共分野※1の  
基盤システム

移行

市町村  
業務システム  
(既存システム)

県が主導して  
標準化を支援

※1 病院、福祉施設、学校、金融機関等

※2 地方公共団体の基幹業務（20業務）システムの統一・標準化

# 何が出来るようになるか

## 奈良スーパーアプリ

住民のしたいことを実現し、  
解決する  
**モバイルアプリ**



+

用途に応じて最適化されたデータと  
オープンな標準仕様を提供する  
**データ連携基盤**



共同利用

令和5年度：奈良スーパーアプリ構築  
令和6年度～：市町村共同利用を計画

## 市町村ができるようになること

- 県が作成したアプリを使って、市町村から行政情報、観光情報の発信が簡単に行える  
⇒そのまま使って**情報発信が簡単**に
- 共通部品を活用すれば電子申請システムが簡単に開発できる  
⇒複雑な**プログラム開発は不要**
- 行政手続きを行う際に納税証明書、住民票を毎回添付することが不要になる  
⇒市町村システムと連携することで**各種証明情報を自動的に取得**

支援

## 県からのサポート

- 導入にあたっての検討や実装を支援  
⇒ 自治体標準システム導入と併せて**奈良スーパーアプリの活用方法や連携方法**について積極的にサポート